

乾燥注意！出穂までは「間断かん水」「飽水管理」を！ 出穂は早まる予想！遅れずに花水を！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎生育概況

7月18日現在の水稻の生育は、平年と比べ草丈はやや長い～長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色は淡くなっています。また、県の試験研究機関の調査圃場の出穂期は、「はえぬき」「雪若丸」「つや姫」のいずれも、平年より早まる予想です。

7月18日に東北南部が梅雨明けしました（平年より6日早い）。7月17日発表の1か月予報（7月19日～8月18日）によると、今後も平年に比べて高温で推移する見込みです。

水稻の生育（7月18日現在）

品種名	項目	調査値	平年値	平年比・差
はえぬき	草丈 (cm)	71.9	68.7	105 やや長い
	茎数(本/㎡)	544	595	91 少ない
	葉数 (枚)	11.8	11.5	+0.3 やや多い
	葉色 (SPAD)	38.8	41.8	-3.0 淡い
雪若丸	草丈 (cm)	69.4	64.1	108 長い
	茎数(本/㎡)	583	653	89 少ない
	葉数 (枚)	12.2	11.8	+0.4 やや多い
	葉色 (SPAD)	39.6	42.2	-2.6 淡い
つや姫	草丈 (cm)	74.9	70.7	106 長い
	茎数(本/㎡)	494	544	91 少ない
	葉数 (枚)	11.7	11.3	+0.4 やや多い
	葉色 (SPAD)	35.3	39.0	-3.7 淡い

※各農業技術普及課の平均値

予想出穂期（7月18日現在）

品種名	場所	出穂期	
		予想	平年※
はえぬき	山形市	8/1 (-1)	8/2
	鶴岡市	7/30 (-1)	7/31
雪若丸	山形市	7/30 (-2)	8/1
	鶴岡市	7/30 (-2)	8/1
つや姫	山形市	8/7 (-1)	8/8
	鶴岡市	8/7 (-1)	8/8

農業総合研究センター調査

※過去7か年（H30～R6）の平均値
カッコ内は平年との差

◎当面の技術対策

1 出穂直前までは「間断かん水」「飽水管理」で土に十分な水と酸素を供給！

圃場の土は十分に湿っていますか。

乾燥した圃場が多く見られます。稲が消耗しないように「間断かん水」「飽水管理」を徹底しましょう。

**「水のためっぱなし」と
「田面にヒビが入るほどの乾燥」は厳禁！！**



田面のヒビ

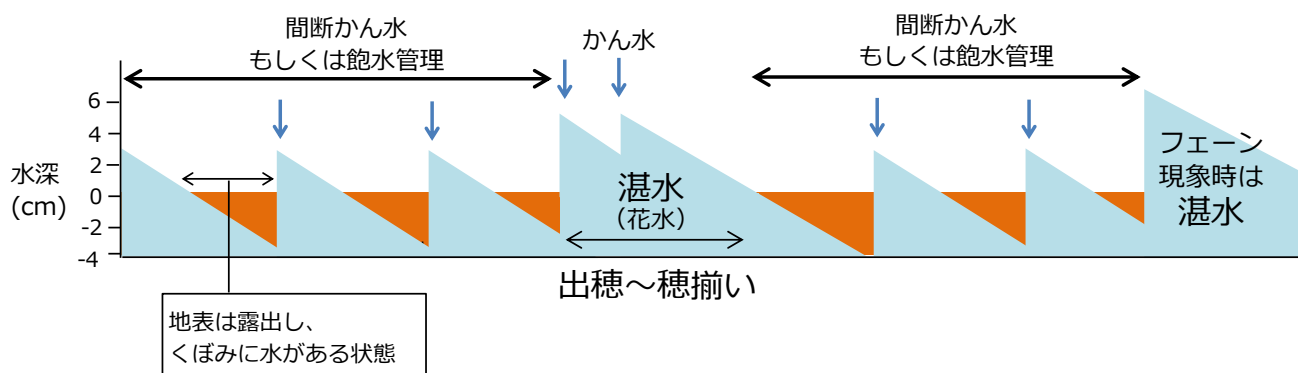
2 出穂を確認したら花水を！

イネは、受精・開花期に最も水分を必要とします。出穂は平年に比べて1～2日程度早まる予想です。圃場をよく観察して、出穂を確認したら直ちに入水し、穂揃期までは湛水状態を保ちます。

また、出穂期から10日間、夜間にフェーン現象が起これば、穂の水分が急激に低下して、白穂となります。特に田面に水がない状態では、減収や品質低下の程度が大きくなります。

そのため、フェーン現象が懸念される場合は速やかに湛水して、イネを高温と乾燥から守りましょう。

水管理のイメージ



6月下旬からの少雨の影響で、農業用ダム等の貯水率や河川の流量は低下しています。今後、用水不足が見込まれる地域では、「番水」や「用水の循環利用」などの対策を検討しましょう。

3 斑点米カメムシ類の発生量が多い！ ～基本防除の徹底を～

斑点米カメムシ類の発生量は平年に比べて多い状況です。出穂状況をよく確認し、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底しましょう。出穂期前後にやむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除直前に行いましょう。

4 葉いもちの発生が確認されています ～早期発見・早期防除～

複数の圃場で葉いもちの発生が確認されています。葉いもちの発生・拡大は、穂いもちの多発につながり、品質・収量に大きな影響を及ぼします。圃場をよく見回り、早期発見、早期防除を徹底しましょう。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

農薬危害防止運動実施中

